

X 線被ばくの最適化と被ばく線量管理に関する研究

(大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会： 承認番号 20422-3)

【研究期間】

2020 年 1 月 15 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

【研究目的】

血管造影室で行われる、血管造影や IVR(画像下治療, Interventional radiography)では X 線を用いて診療、治療が行われる。その際には患者や術者の被ばく線量の管理が問題となる。当院も、さらなる被ばく低減のため、透視条件や撮影条件の見直しの検討が必要となる。また、各検査における被ばく線量は線量管理サーバに蓄積されている。この線量情報を用いて手技別・疾患別に分類して抽出して、最適化を行う手法の開発・提案を行うこと。

【研究意義】

X 線被ばくの最適化と被ばく線量管理を適切に行うことによって、患者被ばく線量の低減、術者被ばく線量の低減に役立つ可能性がある。

【対象・研究方法】

本院にて 2018 年 3 月から 2028 年 3 月までに血管撮影室で撮影を行った患者における、通常の医療にて取得された画像や診療情報を対象とする。

【研究機関名】

大阪大学医学部附属病院（単施設）

【個人情報の取り扱い】

画像データ・その他検査情報は匿名化を行い、これに関わる個人情報は、個人情報管理者によって厳重に管理されます。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

【その他】

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。

【問い合わせ先】

当研究の対象に該当される患者さんの中で、自らのデータを本研究に使用してほしくないとお考えの方は、拒否することができます。下記、問い合わせ先にご連絡下さい。

大阪大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 副診療放射線技師

日高 国幸(研究責任者)

TEL: 06-6879-6812

E-mail: hidaka@hp-rad.med.osaka-u.ac.jp